

研究課題番号	5-2204
研究課題名	魚類に対する環境医薬品の影響評価法開発に関する研究 ～環境分析・分子応答・行動/繁殖解析による融合評価基盤の構築～
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	長崎大学
研究代表者名	征矢野 清

1. 委員の指摘及び提言概要

目標通りに進捗している。魚類個体における医薬品のアウトカムが生じるメカニズムを、複数の受容体への反応性の観点から分子レベルで解明することで、AOPsの経路の一端が明らかとなると期待できる。アユとメダカなどにおける毒性の現れ方の違いについても、新規性の高い成果が得られることを期待する。複合曝露影響では、試験実績は少ないが、相加的作用を確認し、魚種による異常行動の表現型の相違を明らかにするなど、今後の研究の課題も明らかとなり、さらなる研究の進展が期待される。このような評価方法を広めていくためには、行政での検討の枠組みの検討やOECD等への働きかけ・連携を行う必要があると考えられるため、行政とも連携して研究を進めていただきたい。

2. 採点結果

評価ランク：A